

平成 27 年 9 月 2 日

相模原市発表資料

緑区区制施行5周年記念



ショート 緑区Shortフィルムフェスティバル6th

高校生審査員会が発足！

緑区魅力づくり事業実行委員会（森久保眞二実行委員長）が開催する短編映画の祭典「緑区区制施行5周年記念 緑区 Short(ショート)フィルムフェスティバル6th」は、区制施行5周年を記念して、「高校生による特別賞（1作品）」を設置したことに伴い、8月26日、高校生による審査員会を発足させました。これは、緑区内の高校生の未来を担う感性豊かな若者の視点で支持を表すことで参加者の制作意欲の高揚につなげること、また、高校生が参加することで、作品をとおして区の魅力を再発見する機会を提供し、次の作品参加者の創出を目指すことをねらいとしたもので、賞の名称も含めて高校生が決定します。初の顔合せとなった今回は、公募により緑区内の高校に在学する生徒6名が審査員として就任し、過去の受賞作品を視聴して模擬審査を行い、2月に実施する実際の審査へのイメージを膨らませていました。



【高校生審査員らと

緑区イメージキャラクター・ミウル】

審査員の一人、津久井高校3年の林田翔さんは「本番では他の審査員のみんなと意見をたくさん出し合って作品を選びたい。」と抱負を語ってくれました。

同事業は、平成28年1月4日(月)まで作品を募集しており、相模原市緑区のまち、自然、人などの魅力が伝わる短編映像で、プロ・アマ、在住、在外等、応募資格は問いません。募集要領の詳細は緑区ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/midoriku>。なお、映画関係者の審査員による審査会も例年通り行われます。

【お問い合わせ】緑区魅力づくり事業実行委員会事務局
(緑区役所地域振興課内) 電話：042-775-8801

問合せ先 緑区役所地域振興課

直通電話 775-8801 担当 小船

前回（緑区 Short フィルムフェスティバル 2014）の実施概要

参加作品数	ドラマ部門	16 作品
	ドキュメンタリー部門	9 作品
	We Love 緑区 CM 部門	6 作品
	合計	31 作品
審査員長	中西健二氏（映画監督）	審査員 5 名（メディア関係者など）
受賞作品	大賞	ドラマ部門
	作品名	「旅する空き缶」
	出品者	上原俊さん
	○部門賞	ドキュメンタリー部門
	作品名	「又野の身近な自然に触れて～野鳥編～」
	出品者	宮野正実さん
	○部門賞	We Love 緑区 CM 部門
	作品名	「青根のあざおね田んぼ 2014」
	出品者	小野田心平さん
	緑区民賞	
	作品名	「大好き橋本 TV」 出品者 上野大志さん

受賞作品は、市 HP で閲覧することができます。

緑区区制施行5周年記念
ショートMidori ward
Short film
Festival 6th
SAGAMIHARA

緑区Shortフィルムフェスティバル6th

参加作品を大募集！

緑区魅力づくり事業実行委員会（小林満実行委員長）では、相模原市緑区のまち、自然、人などの魅力が伝わる短編映像を広く募集し、上映を行うとともに次のとおり表彰します。

【部門】ドラマ部門（主なロケ地を緑区とした、ストーリーのある作品）
ドキュメンタリー部門
（緑区内の人物、団体、自然、風物などを題材とした記録・ドキュメンタリー作品）
We Love 緑区 CM 部門（緑区の魅力を1分に凝縮したCM作品）

【賞】大賞（3部門の全作品の中から1作品）賞状 副賞（7万円）ほか
部門賞（大賞受賞以外の2部門から部門別に1作品）賞状 副賞ほか
緑区民賞（1作品） 賞状 副賞（緑区特産品）
高校生が選出する特別賞（賞の名称も含めて高校生が決定します・1作品）
その他特別賞
緑区民賞については、平成28年2月6日（土）に開催する上映会に
おいて来場者による投票を行い、その結果を表彰式で発表します。

1 目的

相模原市緑区の地域資源を素材にした映像作品を募集し、上映することにより

緑区のまち、自然、人などの地域資源が持つ魅力を再発見する機会にするとともに、緑区を映像により対外的にアピールする。

映像を制作する過程での多様な視点から緑区の姿を発見、発掘する機会とする。

なお、目的を達する過程で、本事業を通じて映像制作に親しむ方の中から、才能ある人材を緑区から輩出する機会とします。

2 募集概要

(1) 作品時間

ドラマ部門 8分以内/ドキュメンタリー部門 10分以内/We Love 緑区 CM 部門 1分以内

(2) 応募締切 平成28年1月4日（月）必着

(3) 応募資格 プロ・アマ、個人・グループ、居住地を問わず、どなたでも応募できます。

(4) 提出媒体 DVD、ブルーレイ

(5) 応募方法 事前にEメールまたはファックスでエントリーフォームを事務局までお送りください。作品完成後、作品とキャプチャ画像1枚を応募票とともにお送りください。

(6) 応募方法 事前にEメールまたはファックスによりエントリーフォームを事務局へ送信し、作品完成後、作品を応募票とともにお送りください。

(7) 審査 応募作品の審査は、事務局が設置する審査委員会(審査員長は映画監督を予定)が公平・公正に行うこととし、緑区民賞の選考は平成28年2月6日に開催する上映会において一般投票を行います。

3 開催日時・場所

上映会 (一次選考を通過した作品を全て上映します。)

平成28年2月6日(土)

杜のホールはしもと(緑区橋本3-28-1ミウヰ橋本8階)多目的室にて

受賞式・入賞作品上映会 平成28年2月下旬

MOVIX(ムービックス)橋本(緑区橋本3-3-1)にて

4 後援

一般社団法人相模原市観光協会(さがみはらフィルム・コミッション)

5 運営協力

公益社団法人相模原青年会議所

公益社団法人津久井青年会議所

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム

6 主催・問い合わせ・エントリー・応募受付

緑区魅力づくり事業実行委員会事務局

〒252-5177 相模原市緑区西橋本5-3-21(緑区合同庁舎5階)緑区役所地域振興課内

電話:042(775)8801 FAX:042(700)7002

Eメール:g-chiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp

応募票とエントリー用紙の電子ファイルは、相模原市ホームページに掲載しています。

問合せ先

緑区役所地域振興課 直通電話 775-8801

前回（緑区 Short フィルムフェスティバル 2014）の実施概要

参加作品数	ドラマ部門	16 作品
	ドキュメンタリー部門	9 作品
	We Love 緑区 CM 部門	6 作品
	合計	31 作品

審査員長 中西健二氏（映画監督） 審査員 5 名（メディア関係者など）

受賞作品 大賞 ドラマ部門

作品名 「旅する空き缶」

出品者 上原俊さん

作品紹介概要

「日々生活する中で必ず出てしまうゴミですが、ポイ捨てをする人がいるせいで街が汚れていきます。そんなゴミたちがかわいそうに見えてきたので、この映像でゴミについて考え直すことができたらいいと思っています。」

○部門賞 ドキュメンタリー部門

作品名 「又野の身近な自然に触れて～野鳥編～」

出品者 宮野正実さん

作品紹介概要

「自然豊かな津久井地区の里山には、毎年多くの夏鳥が春の時期に東南アジア方面から渡ってきます。これらの夏鳥の生態をまとめた作品です。」

○部門賞 We Love 緑区 CM 部門

作品名 「青根のあざおね田んぼ 2014」

出品者 小野田心平さん

作品紹介概要

「あざおね社中の青根の田んぼでの 1 年間の活動を 3 分間にまとめました。田んぼに人々が集っている様子をご覧ください。」

緑区民賞

作品名 「大好き橋本 TV」 出品者 上野大志さん

作品紹介概要

「総合的な学習の時間に勉強した緑区、橋本の良さを伝えたいとニュース番組を作りました。企画、撮影、編集すべて子どもたちの手による作品です。」

受賞作品は、市 HP で閲覧することができます。